



総務民生委員会による県保健医療部長へ意見書の提出

国保財政の県移管における国保制度改善を求める意見書・決議

一、国保制度の単位化にあたっては、社会保障制度としての役割を果たせるよう配慮すること。

二、国保料については、すでに「高すぎる」水準です。抑制をはかるために、（国に対して）定率で国庫補助を増額するように求めること。

三、前期高齢者人口に基づく補助金算定はこれまで国保財政に大きなマイナスとなってきました。（国に対し）これまでの不足分の補てんを求めること。

四、離島が多く、人口格差や医療水準の差の大きい沖縄県において統一保険料は、導入困難です。これからも各市町村の実情に即した保険料となるよう市町村の自主性を尊重すること。

提出者 照屋仁士
あて先 内閣総理大臣

沖縄県知事 他

（ ）内は県への要請

要請

県・県議会へ10月10日に要請を行いました。

意見書・決議二点を沖縄県と沖縄県議会へ要請を行いました。

県保健医療部長はこども医療費について市町村への補助率の公平性と財源の問題がある。現物給付に反対する市町村もあるのが現実である。また、沖縄県は救急医療の利用者が多くコンビニ受診で医療費の増加の可能性がある。これに対し宮城課長は現物給付導入後のこども医療費増は人口の増加と歯科受診者の増加に起因するものと分析し、コンビニ受診は無く、こどもの疾病の早期発見、早期治療につながっていることを示しました。

県議会議長は全国的なこども医療費現物給付の流れは議会としても把握しているところであり、皆でその方向に向かっているかなければならないと回答した。

情
陳
全会一致で採択
審査の結果、
要望の趣旨は
妥当（採択）

地元産品・企業の優先使用を

地元産品の需要拡大を図り、町内・県内企業の育成強化と雇用拡大を促進して地域経済の活性化に努めること。



南風原町の特産品のかすり

公共工事の際は事業用自動車（緑ナンバー）の使用を

町が公共工事を実施する際、契約書の仕様書等に「緑ナンバー使用」を明記すること。また、受注事業者に白ナンバーによる有償運送行為を排除するよう指導すること。